

「レイカディア滋賀 高齢者福祉プラン」計画案（概要版）

厚生・産業常任委員会資料
平成 27 年(2015 年)3 月 6 日
健康医療福祉部医療福祉推進課

序章 計画の策定にあたって

1 計画の性格

「県老人福祉計画」と「県介護保険事業支援計画」を一体化した高齢者施策に関する総合的な計画

2 計画期間 平成 27 年度～平成 29 年度

第 1 章 高齢者を取り巻く状況

1 高齢化の進行

(1) 高齢化率 [65 歳以上] H27 H37 H52
(2015 年→2025 年→2040 年)
[75 歳以上] 24.2%→27.5%→32.8%
11.4%→16.0%→18.5%

(2) 圏域別高齢者人口 (2010 年を 100 とした場合の増減推移)
[湖南圏域] 125.3→145.2→181.9
[湖西圏域] 109.8→115.0→107.3

(3) 高齢者世帯 (最終年は 2035 年)
[単身世帯] 8.4%→10.3%→12.1%
[高齢者夫婦世帯] 9.9%→11.9%→12.1%

2 高齢者の状況

(1) 高齢者の健康の状況

○慢性疾患による受療率が高いほか、複数の疾病にかかりやすい、要介護の発生率が高い、認知症の発生率が高く、医療ニーズと介護ニーズを併せてもつ高齢者が増加。

(2) 要介護等認定

H27 H32 H37
(2015 年→2020 年→2025 年)
ア 認定者数 [65 歳以上] 58,908 人→71,140 人→79,137 人
イ 認定率 [65 歳以上] 17.4%→19.5%→21.3%

第 2 章 計画の目指すもの

1 基本理念

健康長寿社会と住み慣れた地域における安心システムを、みんなで創りあげる、超高齢社会に対応した新しい「レイカディア～湖の理想郷～」

2 基本目標

- (1) 「元気で活動的な 85 歳」への仕組みづくり
- (2) 地域で支え合う仕組みづくり
- (3) 医療と福祉が一体となった「滋賀の医療福祉」の実現
- (4) ともに築き上げる理想郷づくり

第 3 章 計画のポイント

1 地域包括ケアシステムの構築

- (1) 介護予防の推進
- (2) 在宅医療・介護連携
- (3) 日常生活支援
- (4) 認知症施策の推進

2 介護サービスの一層の充実

3 2025 年を見据えた人材育成

第 4 章 重点課題と施策

(施策の柱)

第 1 節 健康寿命の延伸と高齢者の社会参加の推進

- 1 高齢者の生きがいづくりと社会貢献
- 2 総合的な健康づくりと生活習慣病の予防
- 3 介護予防とリハビリテーション

第 2 節 医療福祉・在宅看取りの推進

- 1 全県域における在宅医療・介護の一体的な推進
- 2 在宅療養・看取りを推進する気運の醸成
- 3 在宅療養を支える人材の育成とスキルアップの仕組みの構築
- 4 市町の在宅医療・介護の推進にかかる事業への支援

第 3 節 地域包括ケアの推進

- 1 在宅医療・介護連携の強化
- 2 地域包括支援センターの機能強化
- 3 地域支援事業の充実
- 4 安心して暮らすことができる高齢者の住まいの確保
- 5 地域での支え合いの推進

第 4 節 認知症対策の推進と高齢者の権利擁護

- 1 認知症予防・啓発の推進
- 2 早期発見・早期対応をはじめとする医療サービスの構築
- 3 地域での生活を支える医療・介護サービスの構築
- 4 地域での日常生活・家族の支援の強化
- 5 若年認知症施策の強化
- 6 医療・介護サービスを担う人材の育成
- 7 高齢者虐待の防止と身体拘束廃止の推進
- 8 高齢者の権利擁護と成年後見人の利用促進

第 5 節 サービス基盤の整備と介護保険制度の安定的運営

1 在宅サービス

	H25	H29	増加率
訪問介護	1,429※1	2,546	-
訪問看護	229	313	36.7%
通所介護	1,865	1,652	24.5%
地域密着通所介護	0	670	
短期入所※1	453	606	33.8%
小規模多機能※2	11	21	90.9%

(参考)要介護等認定者 55,671 人 65,440 人 17.5%

2 施設整備

	H26	H29	増減	増加率
特別養護老人ホーム	5,794	6,625	+831	14.3%
介護老人保健施設	2,942	2,944	+2	微増
介護療養型医療施設	357	357	-	-
3施設計	9,093	9,926	+833	9.2%
認知症グループホーム	1,791	1,910	+119	6.6%
合計	10,884	11,836	+952	8.7%

(参考)要介護等認定者 57,178 人 65,440 人 14.4%

第 6 節 介護職員の確保・育成・定着の推進

- 1 介護職員の確保
- 2 介護職員の育成
- 3 介護職員の定着
- 4 人材育成指針に基づく実施体制

(取組例)

- ① 高齢者による高齢者の生活支援や居場所づくり
- ② 働きたい高齢者へのキャリアプランニング等の就労支援
- ③ ロコモティブシンドローム対策のための体操等
- ④ 切れ目のないリハビリテーション提供体制の整備

- ① 地域連携クリティカルパスの活用促進
- ② 多職種協働による顔の見える関係づくり支援
- ③ 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議の活動支援
- ④ 在宅療養を支える多職種の人材確保・育成
- ⑤ 医療と介護の連携拠点機能整備への支援

- ① 医療と介護の連携拠点づくりの推進を支援
- ② 地域ケア会議の運営支援
- ③ 多様な主体による生活支援サービスにかかる支援
- ④ サービス付き高齢者向け住宅の適正な運営指導
- ⑤ 制度の谷間にある人への社会的支援

- ① 認知症予防の研修の開催や啓発活動の実施
- ② 認知症相談医やサポート医の養成
- ③ 標準的な認知症ケアパスの作成・普及
- ④ 徘徊 SOS ネットワークの整備に向けた研修等の支援
- ⑤ 若年認知症の人の就労や居場所づくりへの支援
- ⑥ 医療・介護従事者への研修の実施
- ⑦ 虐待対応にあたる人材の育成や啓発セミナーの実施
- ⑧ 高齢者成年後見支援センターによる専門的な支援

(主な指標)

要介護等認定率
(75～79 歳)
(H25) 13.3%
(H29) 13.3%

在宅療養支援
診断所数
(H25) 104 診療所
(H29) 150 診療所

市町地域包括
支援センターの設置数
(H25) 35 か所
(H29) 50 か所

認知症相談医数
(H25) 316 人
(H29) 370 人

特別養護老人ホ
ームの整備量
(H26) 5,794 人
(H29) 6,625 人

介護サービス事業者
の自己評価
(H25) 88.6%
(H29) 100%

介護職員数
(H25) 16,000 人
(H29) 20,000 人
(H37) 25,000 人